

丸山の火山活動解説資料（平成 22 年 11 月）

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 火口や噴気の状態（図 2）

18日に北海道開発局の協力を得て、上空からの観測を実施しました。北西斜面に連なる火口列（第1火口、第2火口、第3火口）からは、目視による観測では噴気は認められませんでした。ヘリコプター搭載カメラによる拡大映像では、第3火口からのごく弱い噴気が認められました。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、第3火口及び第2火口と第3火口の境界部で引き続き地熱域が認められましたが、地熱域の拡大等は見られず、前回（2009年5月）の観測と比較して大きな変化はありませんでした。

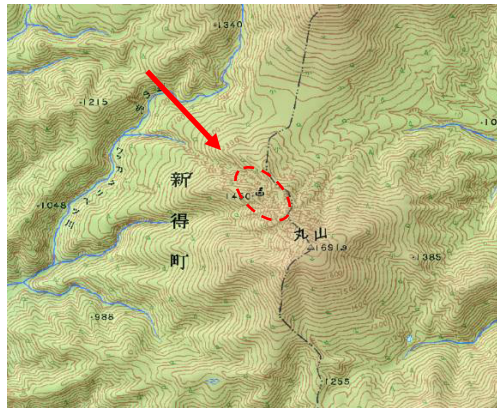


図 1 丸山 周辺図

（赤円は図 2 の範囲、矢印は赤外熱映像の撮影方向）

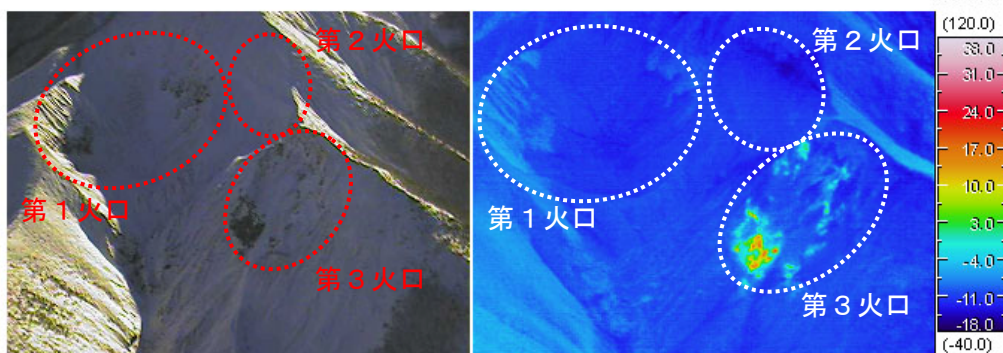


図 2 丸山 赤外熱映像装置¹⁾による北西斜面火口列の地表面温度分布

（11 月 18 日 図 1 の矢印方向から撮影 北海道開発局の協力による）

- 1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は札幌管区气象台のホームページ(<http://www.sapporo-jma.go.jp>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、『数値地図 50000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。